

2025

夏号

皆様と共に考え行動し… 市民に開かれた京都市政を!

京都市会議員

田中あきひで ニュースレター

発行者
田中 あきひで
発行責任者
稲生 茂一

梅雨の候 皆様方にはいかがお過ごしでしょうか。
五期目四年の任期も折り返しの三年目に入りました。京都市会新議長に下村あきら議員が就任されました。私は引き続き自民党議員団の代表幹事に再任いただきました。議会運営委員会の理事として議会の中核で活動させていただけますのも、皆様方の御支援あればこそと改めて厚く御礼申し上げます。

先般、京都観光総合調査が発表されました。令和6年度に京都市へこられた観光客数は5,606万人。その内訳は、日本人4,518万人、外国人1,088万人(過去最高)。その中で、京都で宿泊された方は、日本人809万人、外国人821万人(過去最高)。また、修学旅行生は75万人でした。観光消費額の1兆9,075億円も過去最高です。経済波及効果は2兆989億円と報告されています。

これだけ多くのお客様を迎えて、今年度の予算市会では宿泊税の見直しが大きなテーマでした。様々な議論がありましたが、10万円以上の宿泊をされた方には1万円、5万円以上10万円未満の方は4千円、2万円以上5万円未満の方は千円、6千円以上2万円未満の方は400円、6千円未満の方は200円と、以前より細かく分類し、高額で宿泊される方に応分の負担をお願いすることになりました。それによって年間約120億の税収が見込まれます。(修学旅行生は課税免除です)

松井市政の大きな柱が市民生活第一です。税収が増えた分、観光課題対策にこれまで以上に取り組み、観光が市民生活の豊かさにつながっていることを実感できるような施策を推進してまいります。公共交通の混雑対策やゴミ問題は早急に対策を講じ、市民・観光客双方の利便性向上や安心安全につながるようにしていかなければなりません。更に一部地



域にかたよっているお客様を市内周辺部へ、そしてそこから府内全体に広げ、京都の魅力の継承・発展へとつなげてまいります。松井市長と西脇知事のトップミーティングでも広範囲に議論していただき、議会も自民党府議団と問題意識を共有して取り組んでおります。府市協調のもと、着実にスピード感を持って進めてまいります。

京都市で一番若いといわれた西京区も、人口減少の時代に入ってきました。そして働く世代が近隣の市町へ流出しています。働く場を創出し、教育環境を充実させ、手の届く住まいを提供していくことも喫緊の課題です。京都で子育てをしたいと選んでいたような、西京区の発展に向け、「情熱・対話・行動!!」をモットーに、また「政治家は滅私奉公」を信条に、全力でがんばってまいります。引き続きご指導とご支援をお願い申し上げます。

ビアパーティー開催のご案内

第15回 明秀と共に憩いの夕べ 8月9日(土)/10日(日)

会場：からすま京都ホテル

開宴：午後5時30分～ 午後6時よりご挨拶
(受付：午後5時～)

会費：大人(中学生以上)お一人様7,000円/小人(小学生)お一人様4,000円

※事前のお申し込みをお願いします。

お申し込みは地域の後援会役員又は田中あきひで事務所迄

京都市会議員

田中あきひで 事務所

〒615-8227 京都市西京区上桂宮ノ後町38-2 田中ビル3F

TEL 075-204-6128 FAX 075-205-1508

E-mail tanaka_akihide@nike.eonet.ne.jp

URL http://tanaka-akihide.com/

Facebook・Instagram
を開設しています。
ぜひご覧ください。

3月31日付 新京都戦略が策定されました。

（令和9年度までに取り組む政策や、政策を推進するためのしごとの仕方改革、財政・組織体制の今後の方針を示すものです。）

京都の価値・強みを踏まえ、3つの視点で戦略を推進

ひらく

開・拓

- 内と外の垣根を低くし、世界に開き、多様な人々がつどい・交ざり合うことで新たな価値を創造。
- 京都の未来を切り拓くため、まずは、市役所が変わる。
しごとの仕方を変え、クリエイティブな仕事ができる職場へ変革。

きわめる

究・極

- 京都の本質的な価値を守り、育み続け、さらに新たな息吹を取り込み、学び、創造と革新を繰り返すことで、強みを磨き上げ、イノベーションを創発。
- 京都ならではの価値を創出し、きわめ、世界に唯一を目指す。

つなぐ

継・絆

- 自然、文化、コミュニティなど、京都の人とまちが紡いできた本質的な価値を未来へつなぐ。
- 人と人・地域の絆を大切に、一人一人が尊重され、むすび、つながり、支え合う社会を構築。



令和7年度 主な新規・充実事業

事業名		予算額：千円
1, 京都のまちが紡ぐ文化の力を活かし「新たな魅力・価値を創造し続けるまち」		
文化	子どもたちが文化芸術に触れる機会の創出	28,700
	文化財修理サイクルの確立に向けた修理助成制度の再構築	155,000
観光	観光地等における散乱ゴミ対策	5,000
	観光バスの路上滞留対策等強化事業	35,000
	多様なエリアにおける魅力発信事業	63,500
	市バスのリアルタイム運行情報（市内混雑度や走行位置等）の発信	548,300
2, 居場所と出番により、つながり・支え合う「包摂性が高く誰もが生き生きと活躍できるまち」		
地域 コミュニティ	スマート区役所の推進に資する取組	227,000
	地域資源を活かしたつながり・支え合い創出事業	38,400
福祉 健康	生涯を通じた歯と口の健康づくりの充実（妊婦・パートナー歯科健診・歯周疾患予防健診の充実）	17,500
	人と動物が共生できる社会の推進（犬・猫の多頭飼育崩壊対策、所有者等のいない猫対策）	10,200
3, 京都の伝統・知恵・イノベーションの力により「都市の活力と成長を支える産業が育つまち」		
	京都スタートアップ・海外展開支援プロジェクト	62,500
	商店街キャッシュレス化、DX 促進モデル事業	28,800
	伝統産業未来構築事業	45,000
	ウッド・チェンジ推進事業	49,000
4, 京都ならではの学びと子育て環境を通して「未来を担う子ども・若者を社会全体で共にはぐくむまち」		
子 育 て 支 援	第2子以降の保育料無償化	418,800
	保育の質向上のための環境改善の推進	485,700
	既存住宅の取得支援による若年・子育て世帯の定住・移住促進	280,000
	学校体育館空調整備計画の策定	35,000
5, 豊かな自然・歴史的景観と地域の魅力を活かした「自然環境と調和する持続可能なまち」		
	次期クリーンセンター整備事業	22,000
	地下鉄四条駅の阪急連絡通路へのエレベーター新設	2,200
	地下鉄駅トイレのアップグレードプロジェクト等	11,200
6, 市民のいのち・暮らしを守る「安心安全で災害に強いレジリエントなまち」		
防災 減災 消防 救急	中小河川の洪水及び内水の氾濫に関するハザードマップの作成	152,000
	桂消防出張所移転整備	149,000
	増加する救急需要への対応	77,000
7, 市民サービス向上のための環境整備		
	宿泊税特別徴収事務補助金の充実	86,800
	職場のデジタル環境の整備等	160,000

委員会報告

第87代議長に下村あきら議員（自民・下京）、第97代副議長に吉田孝雄議員（公明・伏見）が選出されました。
今年度の自民党京都市会議員団の委員会構成は、次の通りです。

自民党京都市会議員団

常任委員会

総務・消防	環境・福祉	文教はぐくみ	まちづくり	産業交通水道
行財政改革、防災・危機管理、大学政策、国際交流、情報化推進。 宿泊税の引き上げと効果的な活用。 市民参加型行政の推進。 市民の安心・安全を守る消防行政など。	「低炭素・循環型まちづくり」の推進や再生可能エネルギー拡大、ごみ減量をはじめとする環境政策や高齢者・障害者まで全市民の健全な生活のための政策。	文化庁移転による文化芸術都市創生の施策やスポーツ振興、地域コミュニティ活性化。子ども若者育成支援や学校教育など。	市民のいのちと暮らしを守る道路・河川・橋梁維持補修。 公園の環境整備や京都の魅力や都市格を高める新景観政策。 京町家の保全継承、空き家対策、ニュータウンの活性化。 「歩くまち京都」の推進。	市民生活と観光との調和。 商工業・農林業振興。 「歩くまち・京都」をリードする市バス・地下鉄の機能向上や更なる経営改善。 老朽化が進む上下水道管の更新。
副 下谷津 村口田田	副 西平山 村山本 （恵） しまもと	委 加藤 田中 （明） さくらい	副 田寺山 中田本 （た）（し）	委 井富橋 上村 みちはた

市会運営委員会

市会内部の連絡交渉
その他議事運営

委 寺田 しまと 谷山 田中 口本 （明）（し）

予算・決算特別委員会

予算案・決算の審議

第1分科会	第2分科会	第3分科会
副 しまと 谷津西 村田本 （恵） 口田	副 加藤 田中 田寺平山 （明）（た）（し） さくらい	委 井下富橋 上村 村 みちはた 森田

委員長 副委員長

集中審議期間外の常任委員会は、毎月第2・4週を基本に総務消防委員会を月曜、環境福祉委員会を火曜、文教はぐくみ委員会を水曜、まちづくり委員会を木曜、産業交通水道委員会を金曜に開会しています。